



エコアクション21[®]
認証番号 0013260

一般社団法人日本有機資源協会

環境経営レポート

【2020年4月～2021年3月】



一般社団法人 日本有機資源協会

2021年5月21日

目次

はじめに	1
I 計画の策定	
1. 組織の概要及び対象範囲	2
2. 環境経営方針	5
3. 環境経営目標及び環境経営計画	6
II 環境経営計画に基づき取り組んだ内容及び評価	
1. 環境経営計画の取組結果及び評価	10
2. 次年度の環境経営目標及び環境経営計画	28
3. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	30
III 全体の評価と見直し・指示	
1. EA21 代表者による全体評価	31
2. EA21 代表者による見直し・指示	32
参考 「エコアクション 21」認証・登録証.....	32

はじめに

一般社団法人日本有機資源協会（以下、「JORA」という）は、バイオマス活用を通して環境保全を推進する法人として、エコアクション 21（以下、「EA21」という。）の趣旨に賛同し、2020年度から、「エコアクション 21 ガイドライン 2017 年版」に基づく活動を開始しました。2020年 10 月に、2020 年度～2022 年度の 3 年間を中期計画期間とする環境経営計画を策定しました。また、2020 年 10 月～12 月を活動の試行期間と位置づけ、その間、事務局職員への研修（講座）やワークショップ、EA21 二酸化炭素削減プログラム（Eco-Crip）の実施などの活動をしました。この結果を取りまとめ、最初の環境経営レポート（試行期間 2020 年 10 月～12 月）を作成しました。

その後、エコアクション 21 の登録申請を行い、審査を経て、2021 年 3 月 25 日に認証・登録証を発行いただくに至りました。

この環境レポートは、試行期間の環境経営レポートに、その後の取組結果を追加し、2020 年度の活動成果としてとりまとめたものです。

環境経営計画は、随時見直しを行いながら、よりよい活動と社会貢献につなげたいと思っています。関係各位におかれましては、ご指導をよろしくお願いします。

I 計画の策定

1. 組織の概要及び対象範囲

1) 名称及び代表者名

一般社団法人日本有機資源協会
代表者 会長 牛久保 明邦

EA21 代表者 専務理事 柚山 義人

2) 目的

本協会は、有機性資源の総合的な有効利用の促進を図り、もって持続可能な循環型社会の構築と環境保全の推進に寄与することを目的としています。

3) 所在地

〒104-0033 東京都中央区新川 2-6-16 馬事畜産会館 401

4) 環境管理責任者及び担当者

環境管理責任者 事務局長 嶋本 浩治
担当者 事務局員（総務担当） 新保 美香
連絡先 TEL：03-3297-5618

5) 事業の内容

有機性資源の有効利用に関する調査研究、講習会、研修会の開催、普及啓発の実施

6) 事業の規模

設立 平成 14（2002）年 3 月 29 日
平成 24（2012）年 4 月 1 日 一般社団法人に移行
会員数：223（名誉会員：2、正会員：102、賛助会員：119）
事務局員：13 名
床面積：137.14 m²
（2021 年 3 月 31 日現在）

7) 事業年度

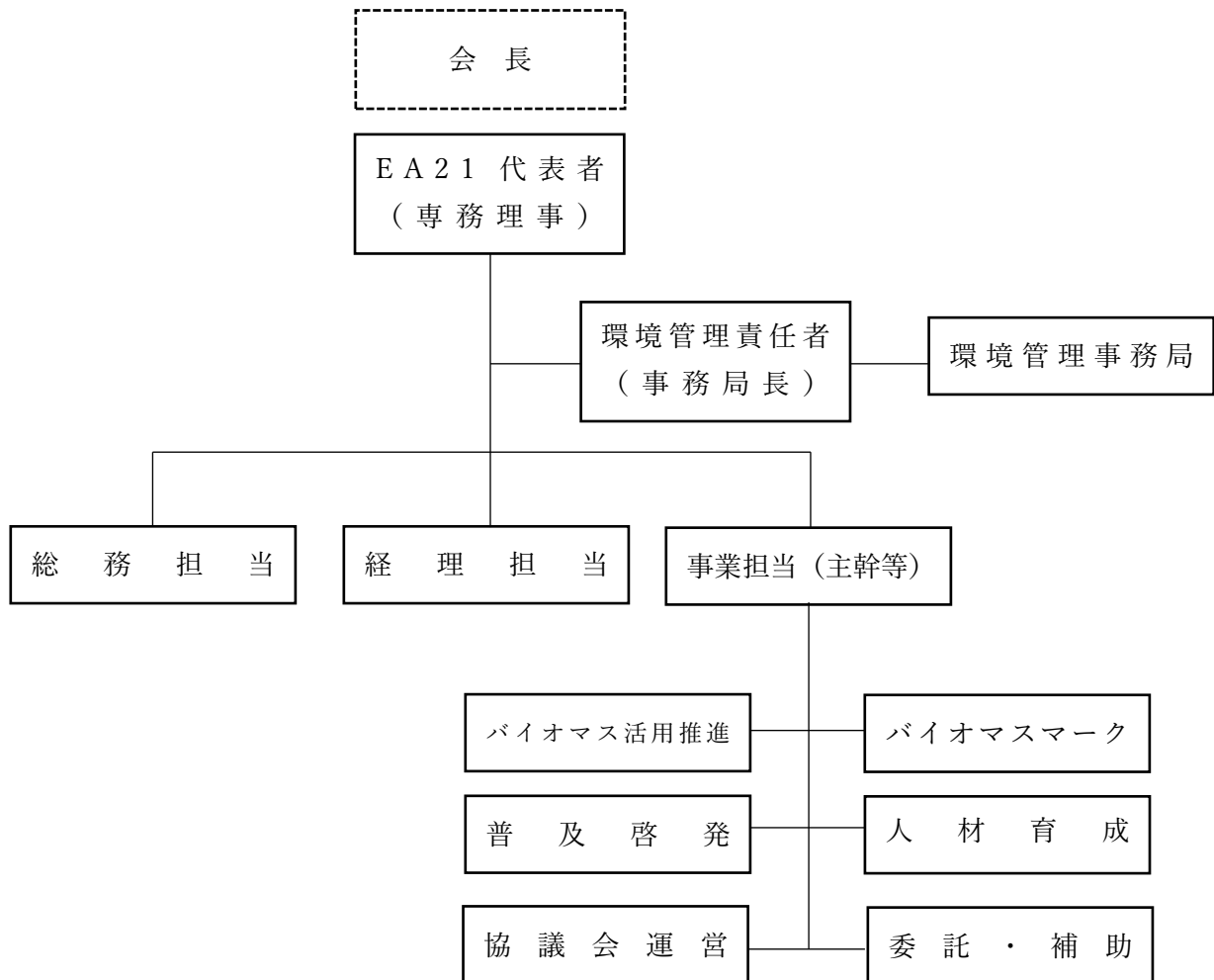
4 月～3 月

8) 対象範囲

- (1) JORA の事務局内での業務
- (2) JORA が取り組むバイオマス活用の推進

上記に関わる全活動を対象としています。

実施体制は、図1に示すとおりです。



役職	役割・責任・権限
EA 代表者 (専務理事)	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する統括責任 ・経営における課題とチャンスの明確化 ・環境管理責任者を任命 ・環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境目標・環境活動計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境経営レポートの承認 ・環境への取組を実施するため、必要な人員、設備、費用等を準備
環境管理責任者 (事務局長)	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境目標・環境活動計画書を確認 ・環境活動の取組結果をEA代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境管理事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者の補佐 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・環境目標、環境活動計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーション ・環境経営レポートの作成、公開（事務所に保管と地域事務局への送付）
事業担当 (主幹等)	<ul style="list-style-type: none"> ・環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 ・問題点の発見、是正、予防処置 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

図1 EA21の実施体制

2. 環境経営方針

EA21 代表者である専務理事（柚山義人）は、以下のように環境経営方針を定め、誓約しました。

日本有機資源協会（JORA）は、「豊かなる大地、永遠（とわ）の地球」を次世代に引き継ぐことを使命とし、産業界・学界・国・地方自治体・市民との連携のもと、地域に賦存するバイオマスの有効活用による①持続可能な循環型社会の構築、②地域活性化、③環境保全、④新産業創出に全力で取り組みます。

地域にはさまざまな資源があります。廃棄物、未利用物も人間や産業に有用なものに変換することができます。バイオガス、電気・熱、バイオ燃料などの再生可能エネルギー、堆肥、飼料、バイオマスプラスチック、付加価値物質などのマテリアルを生産し使用する仕組みを、地域の特徴を踏まえて、人（組織）、技術、制度、資金、情報をつなげて作り上げていきます。

JORA は、わが国におけるバイオマス活用の総合窓口です。会員の力を結集して、強みである産業界・学界・国・地方自治体とのネットワークを活かし、政策提言、共同研究、普及啓発、人材育成を行います。

JORA は、課題である適切な人員配置、役割分担、進捗管理を解決し、業務の効率化を図ります。また、これまでの事業を着実に推進しつつ、環境やバイオマス活用への関心の高まりの気運を背景に、自らも調査研究を行い、技術革新や社会情勢の展開状況を踏まえて自主事業を創設していきます。

JORA は、技術力を磨き、世の中に信頼され頼りにされる組織になる努力を継続し、連携の力で豊かな未来を創造し、SDGs、バイオエコノミー、地域循環共生圏、災害時におけるレジリエンス強化に貢献していきます。

環境への取組においては、以下を重点分野とします。

（１）事務局内での業務

- ・環境負荷低減のために節電を強化します。

（２）バイオマス活用推進に関わる活動

- ・JORA による各種支援において、創エネ、省エネ、GHGs 排出量削減、廃棄物最終処分量削減、水質保全の効果が大きくなり、効果が定量化される計画を立案していきます。
- ・人材育成、普及啓発の活動において、環境保全の重要性をより強調します。

JORA は、環境経営の改善のために、毎年度、目標と活動計画を見直していくことを誓約します。また、全ての業務、活動において適用される環境関連法規を遵守することを誓約します。

2020年10月5日
専務理事 柚山義人

3. 環境経営目標及び環境経営計画

(1) 事務局内での業務

ア) 環境経営目標

2020 年度（初年度）：

- ① 業務の効率化により、年間電力使用量(kWh)を、2019 年度を基準年度として 1%削減します。ただし、新型コロナウイルス感染防止対策を優先します。
- ② コピー用紙の購入量を、2019 年度を基準年度として 3%削減します。
- ③ 機密情報の漏洩防止のための紙の溶融処分量（箱数でカウント）を、2019 年度を基準年度として 5%削減します。

なお、JORA は、ビルのテナントに入居しており、事務所（事務局）から排出される廃棄物はビル管理会社が回収するため排出量の把握ができません。上水は個別メーターが無いので定量的把握ができません。従って、これらについては定量目標を設定しません。また、当協会は化学物質を扱っていません。

2020 年度～2022 年度(中期計画 3 年間)

- ① 業務の効率化により、一人当たりの年間電力使用量(kWh)を、2019 年度を基準年度として 2022 年度までに 5%削減します。ただし、新型コロナウイルス感染防止対策を優先します。
- ② コピー用紙の購入量を、2019 年度を基準年度として 2022 年度までに 10%削減します。
- ③ 機密情報の漏洩防止のための紙の溶融処分量（箱数でカウント）を、2019 年度を基準年度として 2022 年度までに 20%削減します。

イ) 環境経営計画

手段：快適な職場就業環境の整備、健康管理を前提として環境保全の取組を推進します。

- ① 節電行動
 - ・不在場所の消灯をします。
 - ・退勤時に PC の電源を抜きます。
 - ・1つの複合機の電源を切る状態を標準とします。
 - ・シュレッダーの電源を切る状態を標準とします。
 - ・エアコンの適切な温度設定をします。
 - ・就業時間の削減（働き方改革との連動）に努めます。

なお、作業効率を上げて作業時間を短縮するための高性能パソコン導入についても検討します。

- ② 節電のための投資行動
 - ・省力型冷蔵庫への買い替え（効果を見極め後）を検討します。
 - ・エアコンの効果を上げるための温度計と、サーキュレーターへの導入（効果を見極め

後)を検討します。

③ ペーパーレス化の推進

- ・各種業務の電子化を促進します。
- ・上記を含め、機密情報の漏洩防止の観点から業者に委託し溶融処理している紙の量を減らします。

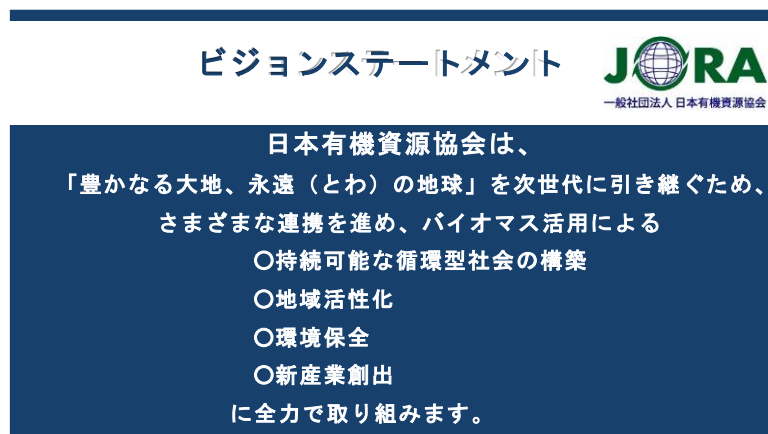
④ 意識啓発

- ・環境保全をミッションの1つとしている JORA ビジョンを事務局員が交代で宣言(朗読)します。(図2参照)
- ・環境負荷削減についてのワークショップや講座を開催します。
- ・節電を呼びかける掲示を行います。
- ・上水使用量削減のため、流しでの食器洗いやトイレでの手洗い時に節水を心掛けます。
- ・事務局からのごみ削減のため、紙類はリサイクルを徹底し、コピー用紙は裏紙を利用します。物流梱包資材からの廃棄物削減のため、梱包資材の再利用を心掛け、個人発生日ごみは持ち帰ることによりごみの発生量を減らします。
- ・事務局員全員で日常的な整理、整頓及び清掃を実施します。

⑤ 数年間の取組の成果を基に JORA が入居している馬事畜産会館を管理している一般財団法人馬事畜産会館に環境保全のために提案を行います。

日程:データは月ごとに取得します。毎月開催する事務局運営会議のうち、四半期に1回、実績を共有することにより、節電意識、ペーパーレス化の意識を高めます。

責任者:総務担当の新保美香を責任者とします。但し、上記⑤の責任者は専務理事の柚山義人とします。



The graphic features a dark blue background with white text. At the top left, it says 'ビジョンステートメント' (Vision Statement). To the right is the JORA logo, which consists of a globe icon and the letters 'JORA' in a bold, sans-serif font. Below the logo, in smaller text, is '一般社団法人日本有機資源協会' (General Incorporated Association of Japan Organic Resources Association). The main body of the graphic contains the following text: '日本有機資源協会は、' (The Japan Organic Resources Association is), followed by '「豊かなる大地、永遠(とわ)の地球」を次世代に引き継ぐため、' (to pass on 'rich land, eternal earth' to the next generation), and 'さまざまな連携を進め、バイオマス活用による' (advancing various collaborations and utilizing biomass). Below this are four bullet points: '○持続可能な循環型社会の構築' (Construction of a sustainable circular society), '○地域活性化' (Regional revitalization), '○環境保全' (Environmental conservation), and '○新産業創出' (Creation of new industries). The graphic concludes with 'に全力で取り組みます。' (We will work with full effort).

図2 JORA ビジョンステートメント

(2) バイオマス活用推進に関わる活動

2020 年度～2022 年度(中期計画 3 年間)

【JORA による各種支援に関して】

ア) 環境経営目標－1

バイオマス産業都市構想等の策定支援を 3 年間で 6 件以上（年度 2 件）します。

イ) 環境経営計画－1

手段：

- ① バイオマス産業都市構想、都道府県・市町村のバイオマス活用推進計画、バイオマス活用事業化計画等の策定をバイオマス活用アドバイザー等と連携して支援します。
- ② バイオマス発電をはじめとするバイオマスエネルギー関係の事業化のための計画策定を支援します。
- ③ バイオマス活用相談室の運営により、資料提供、面談指導、実地指導、講演、委員の派遣をします。

日程：年間を通して推進します。事務局員・業務調整連絡会及び事務局運営会議において活動状況を共有します。また、事務局運営会議において四半期に 1 回、EA21 の活動内容を事務局員内で共有します。

責任者：次長の菅原良を責任者とします。

【人材育成、普及啓発の活動に関して】

ア) 環境経営目標－2

- ① 人材育成事業等で、3 年間で 60 名以上（年度 20 名）の人材を養成します（フォローアップ者を含む）。なお、手段 1）～5）で評価します。手段 6）を参考記録とします。
- ② 普及啓発事業等で、3 年間で 18 回以上（年度 6 回）のシンポジウム等の開催、出展等をします。なお、手段 7)、8) で評価します。手段 9) のうち、メールニュースの配信数を参考記録とします。

イ) 環境経営計画－2

手段：

1) バイオマス活用総合講座

バイオマス活用に関する政策、法令、技術、事業運営等全般にわたる知識を修得し、地域におけるバイオマスの活用を推進する担い手を養成します。

2) バイオマス活用アドバイザー養成研修

バイオマスの賦存量及び活用量の把握手法、製品やエネルギー等多様な変換・利用方法、農林水産業をはじめとする地域の様々な産業や自治体関係者等との連携等、多方面にわたる豊富な知見を有し、地域の実状を踏まえて関係者間の調整や事業化に向けた支援等により「現場を動かしていく」人材である「バイオマス活用アドバイザー」を養成します。

3) メタン発酵技術アドバイザー養成研修

バイオガス化・液肥製造事業における技術管理やメタン発酵施設の総括管理業務担当者に必要な知識・技術の習得を行い、事業化に貢献できるメタン発酵技術アドバイザーを養成します。

4) コンポスト生産者及びコンポスト生産管理者養成研修

コンポスト化技術について、コンポスト化に携わる「コンポスト生産者」や同技術の総括管理的業務を執行する「コンポスト生産管理者」を養成します。

5) コンポスト生産管理者及びメタン発酵技術アドバイザーのフォローアップ研修

コンポスト生産管理者及びメタン発酵技術アドバイザーをフォローアップするため、養成研修終了後3年毎に同修了者として必要な最新の政策、法令、技術、事業運営等に関する研修を実施します。

6) 講演会等への講師派遣等

7) シンポジウム、フォーラム、セミナー、サロン等の開催

8) 国内・国際展示会、地域イベント等への出展

9) ホームページ、メールニュース、SNSによる情報配信

日程：年間を通して推進します。月に1回、事務局運営会議において活動内容を事務局員内で共有します。

責任者：主幹の土肥哲哉を責任者とします。

2020年度の環境経営目標と環境経営計画（取組内容）は表1のように整理されます。

表1 2020年環境経営目標及び取組内容

環境経営目標	責任者	取組内容
電力使用量1%削減 (2019年度同期比)	総務 担当	<ul style="list-style-type: none"> ・不在場所の消灯をします。 ・退勤時にPCの電源を抜きます。 ・1つの複合機の電源を切る状態を標準とします。 ・シュレッダーの電源を切る状態を標準とします。 ・エアコンの適切な温度設定します。 ・就業時間の削減（働き方改革との連動）に努めます。
	総務 担当	<ul style="list-style-type: none"> ・高性能パソコン導入について検討します。 ・省力型冷蔵庫への買い替え（効果を見極め後）を検討します。 ・エアコンの効果を上げるための温度計とサーキュレーター の導入（効果を見極め後）を検討します。

コピー用紙 購入量 3%削減、 溶融処理量 5%削減 (2019 年度同期比)	総務 担当	<ul style="list-style-type: none"> ・各種業務の電子化を促進します。 ・コピー用紙の使用量を減らします。 ・溶融処理の紙量を減らします。 ・日常的に、整理整頓を実行します。
廃棄物排出量の削減	総務 担当	<ul style="list-style-type: none"> ・分別処理し資源としての回収に努めます。
水使用量の削減	総務 担当	<ul style="list-style-type: none"> ・節水ポスター等を表示します。 ・蛇口の適正な開閉で節水を心掛けます。
バイオマス産業都市 構想等策定支援 2 件	次長	<ul style="list-style-type: none"> ・バイオマス産業都市構想、都道府県・市町村のバイオマス活用推進計画、バイオマス活用事業化計画等の策定をバイオマス活用アドバイザー等と連携して支援します。
人材育成事業 20 名以上	主幹	<ul style="list-style-type: none"> ・バイオマス活用総合講座（10 月） ・メタン発酵技術アドバイザー養成研修（11 月） ・講演会等への講師派遣等
普及啓発事業 6 回以上	主幹	<ul style="list-style-type: none"> ・シンポジウム、フォーラム、セミナー、サロン等を開催します。 ・国内・国際展示会、地域イベント等へ出展します。 ・ホームページ、メールニュース、SNS による情報配信をします。

II 環境経営計画に基づき取り組んだ内容及び評価

1. 環境経営計画の取組結果及び評価

2019 年度を基準年度とする中期計画期間（2020 年度～2022 年度）における目標と 2020 年度の取組実績は表 2 のとおりでした。

表2 環境経営目標と取組実績

項目	内容	単位	基準年度 2019 年度 実績	1年目 2020 年度 目標	2020 年度 4月~3月 実績	2年目 2021 年度 目標	3年目 2022 年度 目標	目標 数値に対する 評価	取組 プロセスに対 する 評価
節電	二酸化炭素 排出量の削減	kg-CO ₂	7,252	7,179 △1%	9,238 127%	7,107 △2%	6,889 △5%	×	○
	電力 (電灯) 使用量の削減	k Wh	9,937	9,838 △1%	10,492 106%	9,738 △2%	9,440 △5%	△	○
	電力 (空調) 使用量の削減	k Wh	6,470	6,405 △1%	10,409 161%	6,340 △2%	6,146 △5%	×	○
廃棄物 の削減	コピー用紙 購入量の削減	箱	52	50 △3%	41 82%	48 △7%	47 △10%	○	○
	コピー用紙 溶解処理量 の削減	箱	60	58 △3%	65 112%	50 △16%	48 △20%	×	○
	事業系一般 廃棄物 の削減	-	分別徹底	分別徹底	分別徹底	分別徹底	分別徹底	○	○
水資源 の節約	水使用量の 削減	-	節水の 徹底	節水の 徹底	節水の 徹底	節水の 徹底	節水の 徹底	○	○
グリーン 購入	業務用購入 商品の環境 配慮 (コピー用 紙)	-	再生コピ ー用紙 購入	再生コピ ー用紙 購入	再生コピ ー用紙 購入	再生コピ ー用紙 購入	再生コピ ー用紙 購入	○	○

地域への環境配慮	入居ビル管理会社への提案	-	提案準備	提案準備	提案準備	提案準備	提案実施	○	○
バイオマス活用推進の活動	バイオマス産業都市構想等策定支援	件	2	2	2 (2020年度未までの累計)	2	2	○	○
	人材育成事業	人	1講座 4研修 合計 49名	1講座 1研修 20名	1講座 1研修 27名	20名	20名	○	○
	普及啓発事業	回	展示会 8回 サロン 3回 合計 11回	6回	展示会 2回 サロン 1回	6回	6回	×	○

(注) 目標数値評価基準は以下のとおりです。

◎：目標より10%を超えています ○：目標を達成しました

△：目標に対して100%～90%の達成度 ×：目標に対して90%以下の達成度

購入電力の二酸化炭素の排出係数は、東京電力エナジーパートナー株式会社が2020年10月に公表した2019年度CO₂排出係数0.442kg-CO₂/kWhを用いている。(2020年11月に0.441kg-CO₂/kWhと訂正)(東京電力エナジーパートナー株式会社の公表した2020年の調整後排出係数は、0.455kg-CO₂/kWh)

(1) 事務局内での業務

【二酸化炭素排出量の削減】

試行期間(2020年10月～12月)の二酸化炭素排出量は、前年同時期に比較して38.3%増加しました。これは新型コロナウイルス感染防止対策(以下、「コロナ対策」という)として時差出勤(7:00～10:00就業開始)による照明の点灯時間の増加、換気用として窓を少し開けた状態での空調の運転が影響していると考えられます。試行期間終了後の2021年1月～3月においても、状況は継続しました。今後もコロナ対策を優先しつつ二酸化炭素排出量の削減に取り組んでいきます。

【電力使用量の削減】

2020年度の電力使用量は、前年度に比較して27.3%増加しました。これはコロナ対策が影響していると思われます。しかし、電灯使用量に着目するとコロナ対策が始まった4月～9月までの電灯使用量平均増減は114%となっていますが、エコアクション21の取組後にあたる10月～3月の平均は99%に抑えられています。さらに、事務局員1人当たりには換算すると、91%に抑えられています。これは、掲示などによる節電行動への啓発で事務局員の意識がより高まった効果と考えられます。コロナ対策を優先したため空調電力は増えてきましたが、引き続き事務局員全員が積極的に省エネルギー行動をとることができるよう担当責任者を中心に取り組みます。

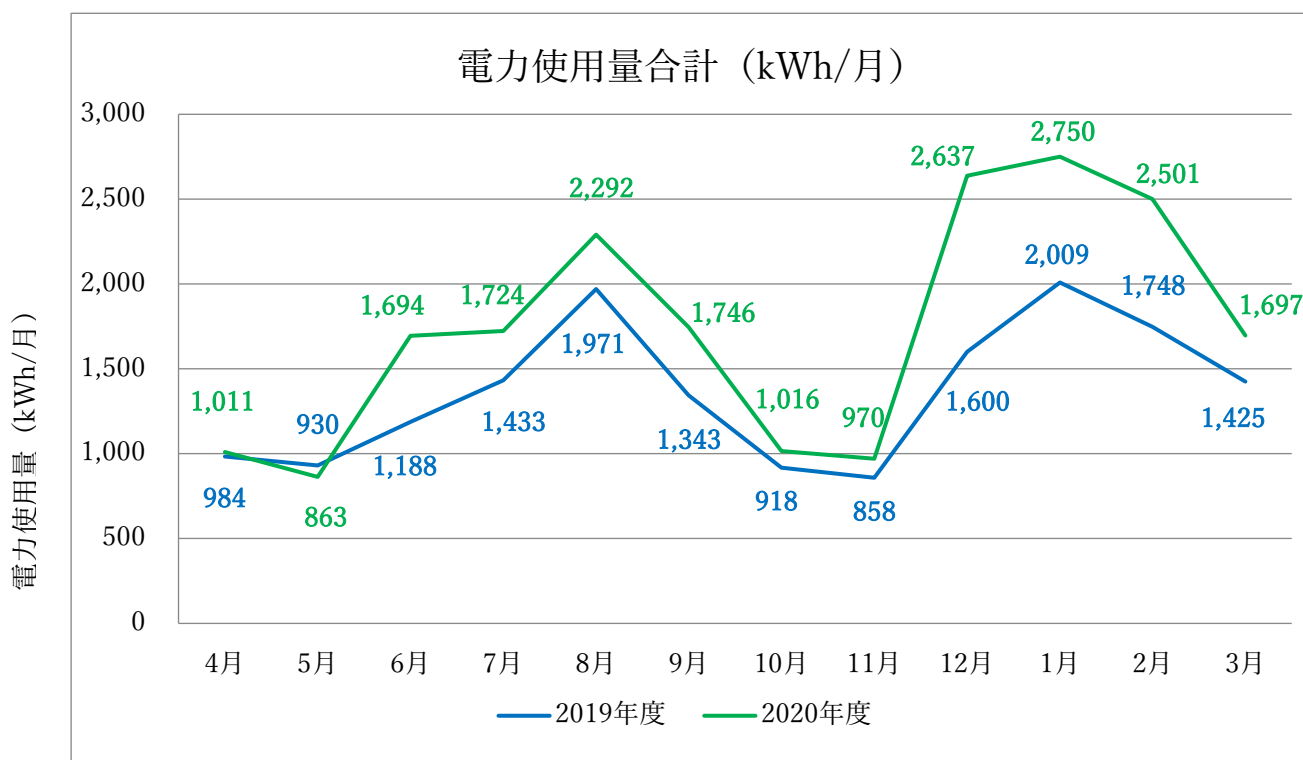


図3 電力使用量の変化

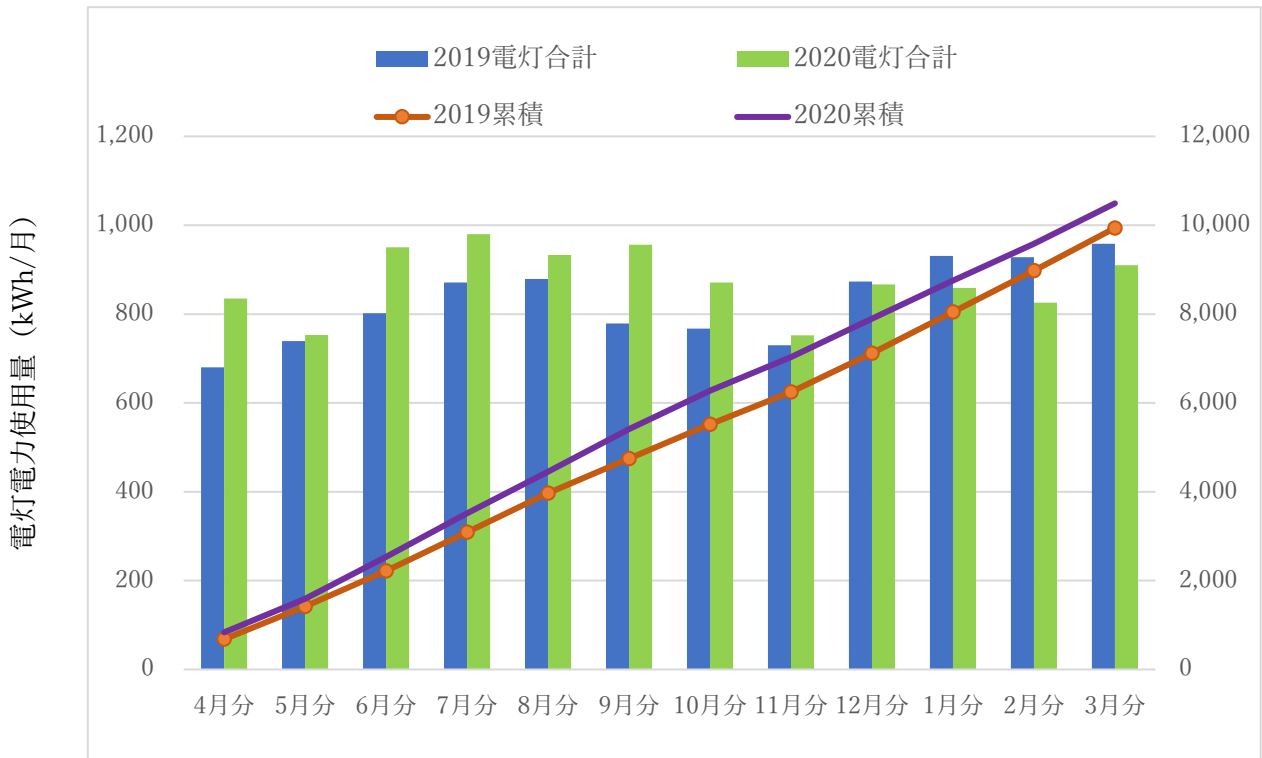


図4 電灯使用量の比較

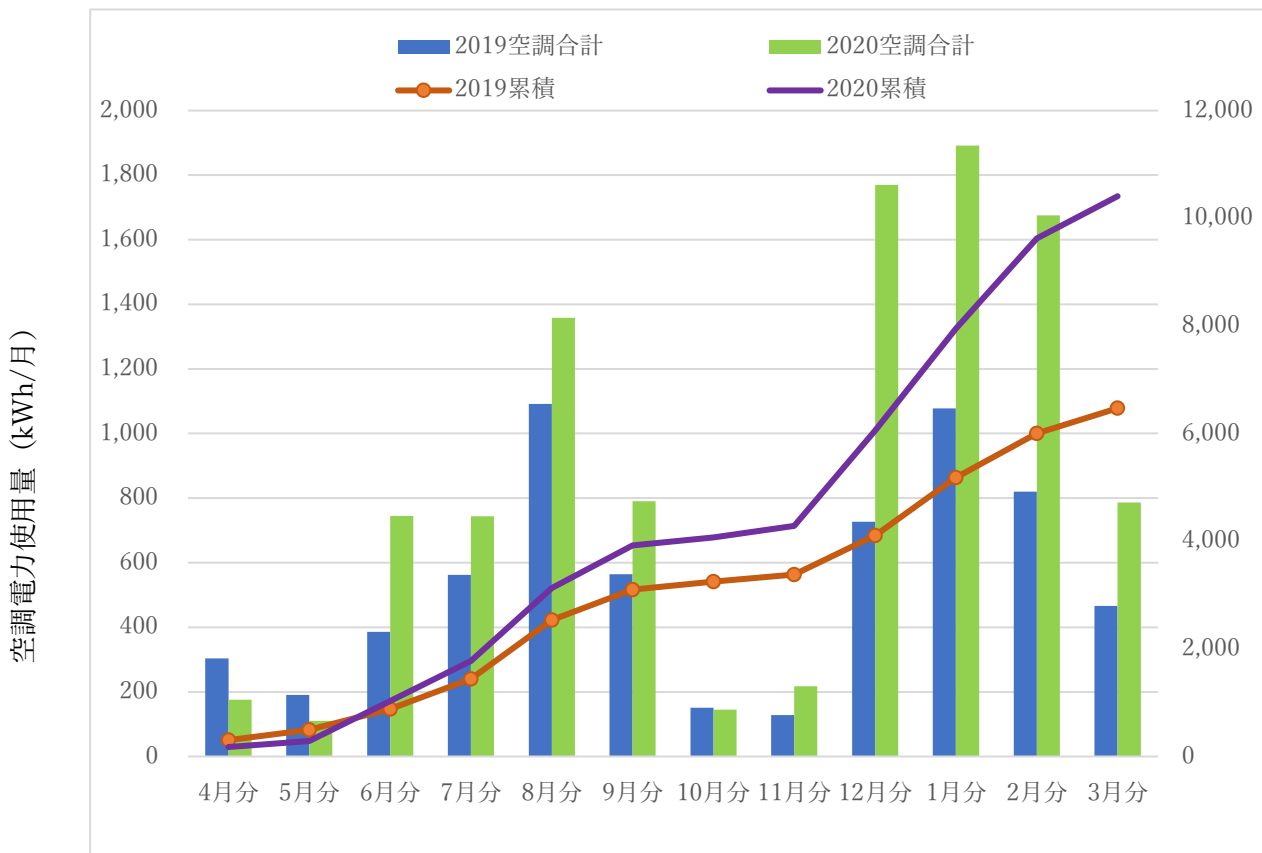


図5 空調使用量の比較

表3 電灯電力使用量の比較

	4月 分	5月 分	6月 分	7月 分	8月 分	9月 分	10月 分	11月 分	12月 分	1月 分	2月 分	3月 分
2019年電灯 電力合計 (kWh)	680	739	802	871	879	779	767	730	873	931	928	958
(kWh/人)	56	61	66	72	73	64	63	60	72	77	77	79
2020年電灯 電力合計 (kWh)	835	753	950	980	933	956	871	752	867	859	826	910
(kWh/人)	64	57	73	75	71	73	67	57	66	66	63	70
2020/2019 年 (%)	123	102	118	113	106	123	114	103	99	92	89	95
1人当たり 換算 (%)	114	93	111	104	97	114	106	95	92	85	81	88

(注) 事務局員数は2019年度12人、2020年度13人。

なお、居室内の温度・湿度、照度の分布、機器ごとの電力消費量を調査し、どの対策が効果的であるかを見極めました。



図6 温湿度計によるモニタリング

また、会議室の出入口にステッカーを貼って節電啓発をしました。



図7 節電を呼びかけるステッカー

【一般廃棄物の削減】

ビル管理会社が処理しており、計量することができないため個人の意識によるところが多くありますが、電子資料の活用や両面コピーの徹底を喚起することでさらに周知していきます。

【グリーン購入】

コピー用紙は、再生コピー用紙を購入しました。

【その他】

① 消防訓練への参加

JORA が入居している馬事畜産会館では、一般財団法人馬事畜産会館主催で毎年消防訓練が行われており、例年は全職員参加しています。2020年度はコロナ対策として参加人数が制限されたため、代表2名が11月16日に参加し、避難経路や手順について再確認しました。

② コロナ対策

JORA ではコロナ対策の基本方針を2020年4月1日に決定していました。これまでの経験と情勢の変化を踏まえ、11月30日付けで対応の措置を改めて示し、事務局職員全員に周知しました。

(2) バイオマス活用推進に関する活動

【バイオマス産業都市構想等の策定支援】

国・地方公共団体及び民間事業者等からバイオマス活用推進に関する要請・要望・相談等を受けて、以下の事業を実施しました。

① バイオマス産業都市構想の策定支援

2020年度は、三重県南伊勢町のバイオマス産業都市構想策定支援に携わり、バイオマス産業都市に選定されました。

② 都道府県バイオマス活用推進計画、市町村バイオマス活用推進の策定

2020年度は、宮崎県川南町のバイオマス産業都市構想策定委員会に参加しました。

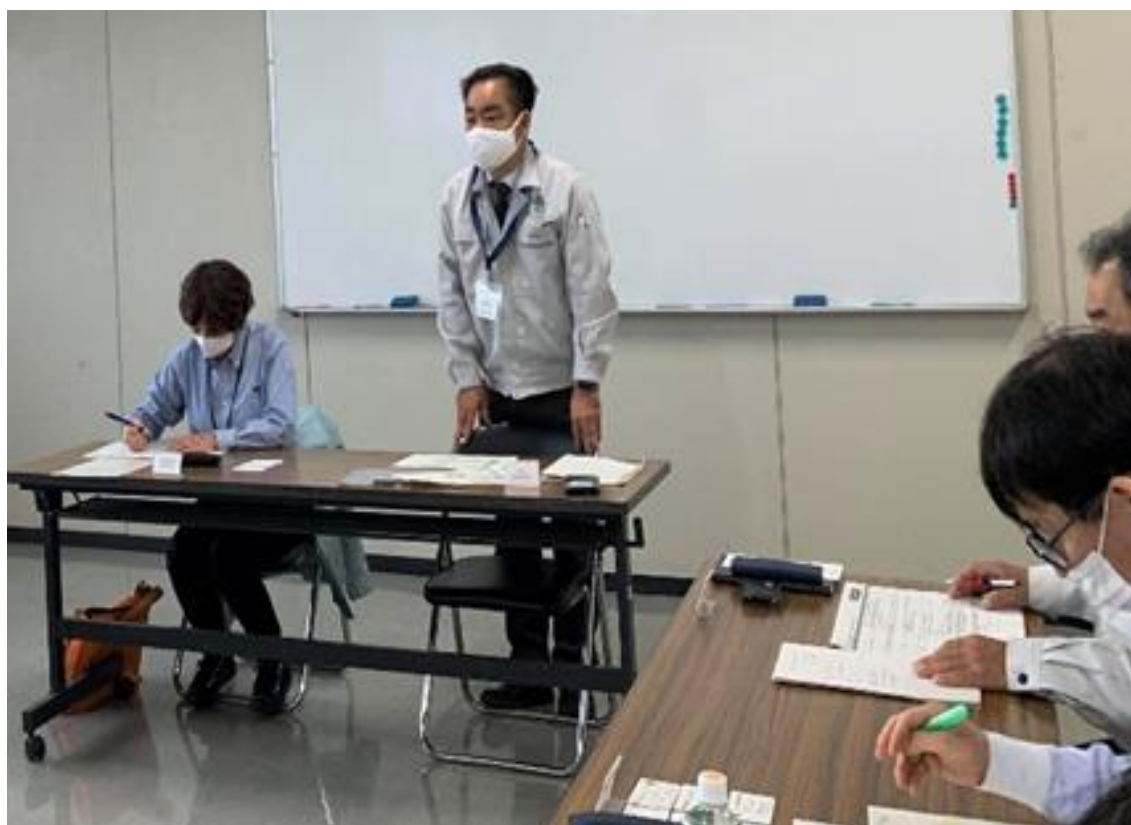


図8 宮崎県川南町バイオマス産業都市構想策定委員会

③ バイオマス活用相談における助言や現地指導及び講師派遣等

2020年度は、NEDOのFSの資源作物調査のため、栃木県さくら市へ赴きました。



図9 NEDOのFS 資源作物現地調査(栃木県さくら市)

【人材育成】

バイオマス活用に関する政策、法令、技術、事業運営等全般にわたる知識を修得し、地域におけるバイオマスの活用を推進する担い手を養成するための「バイオマス活用総合講座」を10月20日～22日に開催し、12名が参加し修了しました。

また、バイオガス化・液肥製造事業における技術管理やメタン発酵施設の総括管理業務担当者に必要な知識・技術の習得を行い、事業化に貢献できるメタン発酵技術アドバイザーを養成するための「メタン発酵技術アドバイザー養成研修」を11月24日～26日に開催し、15名が参加し修了しました。

1講座、1研修で合計27名の参加者となり、目標を達成しました。これは、Web参加を可能にしたことが大きな要因と思われます。次回以降も担当責任者を中心に、一人でも多くバイオマスの活用推進の担い手を養成することができるよう取り組みます。



図 10 バイオマス活用総合講座



図 11 メタン発酵技術アドバイザー養成研修

【普及啓発】

JORA が実施する普及啓発事業については、取組期間中に展示会への出展、イベントへの参加をし、バイオマス活用推進に関わる活動を頻繁に行いました。例年とは異なり、オンラインでの参加も多くありましたが、講演会へ積極的に講師派遣をしました。

① シンポジウム、フォーラム、セミナー、サロン等の開催



図 12 第 93 回バイオマスサロン (11 月 13 日)

② 国内・国際展示会、地域イベント等への出展



図 13 第 5 回関西バイオマス展 (出展) (9 月 9 日～9 月 11 日)

第17回 2020年

子どもとためす環境まつり

WEB版

～ネットを通して環境について学んでみよう!～

期間は2020年10月17日～2021年3月末まで
環境について、いろいろなことを楽しく学んでね。

中央区環境保全ネットワーク HP
URL <https://ckhnet.web.fc2.com/>
子どもとためす環境まつりチャンネル

主催：中央区環境保全ネットワーク
後援：中央区・中央区教育委員会
環境省関東地方環境事務所
東京都環境局
東京商工会議所中央支部
中央区社会福祉協議会

これまで毎年秋に、中央区の小学校を会場に開催してきた「子どもとためす環境まつり」ですが、今年度はインターネット上で開催します。

出展： 育て育むまちづくりはじめの一歩の会 AGC株式会社PC 2nd 産ビ工業・環境協会
エコーシステム株式会社 心算実習 カトーゼリ研究所 NPO 法人持続可能な社会をつくる元氣ネット
スチール加工サイタル協会 NPO 法人全国美洗米協会 大気汚染測定運動中央区連絡会
中央区環境保全ネットワーク 丹島機械株式会社 東京ガス株式会社東京中央店
東京都下水道局中部下水道事務所 NPO 法人日本ファイバーリサイクル推進協会子どもリサイクルくらぶ
一般社団法人日本有機資源協会 一般社団法人プラスチック循環利用協会

お問い合わせ 中央区環境保全ネットワーク事務局
TEL: 03-3536-4488

GOOD CHOICE



図 14 WEB 版子どもとためす環境まつり出展 (10月17日～3月31日)



図 15 中央区立環境情報センター「環境活動フェス 2020」出展 (11月7日～11月9日)



バイオマスマークについて

2020年11月25日～11月28日 14:00～

一般社団法人 日本有機資源協会



バイオマスマーク

1



図 16 エコプロ Online2020 出展（11月25日～11月28日）

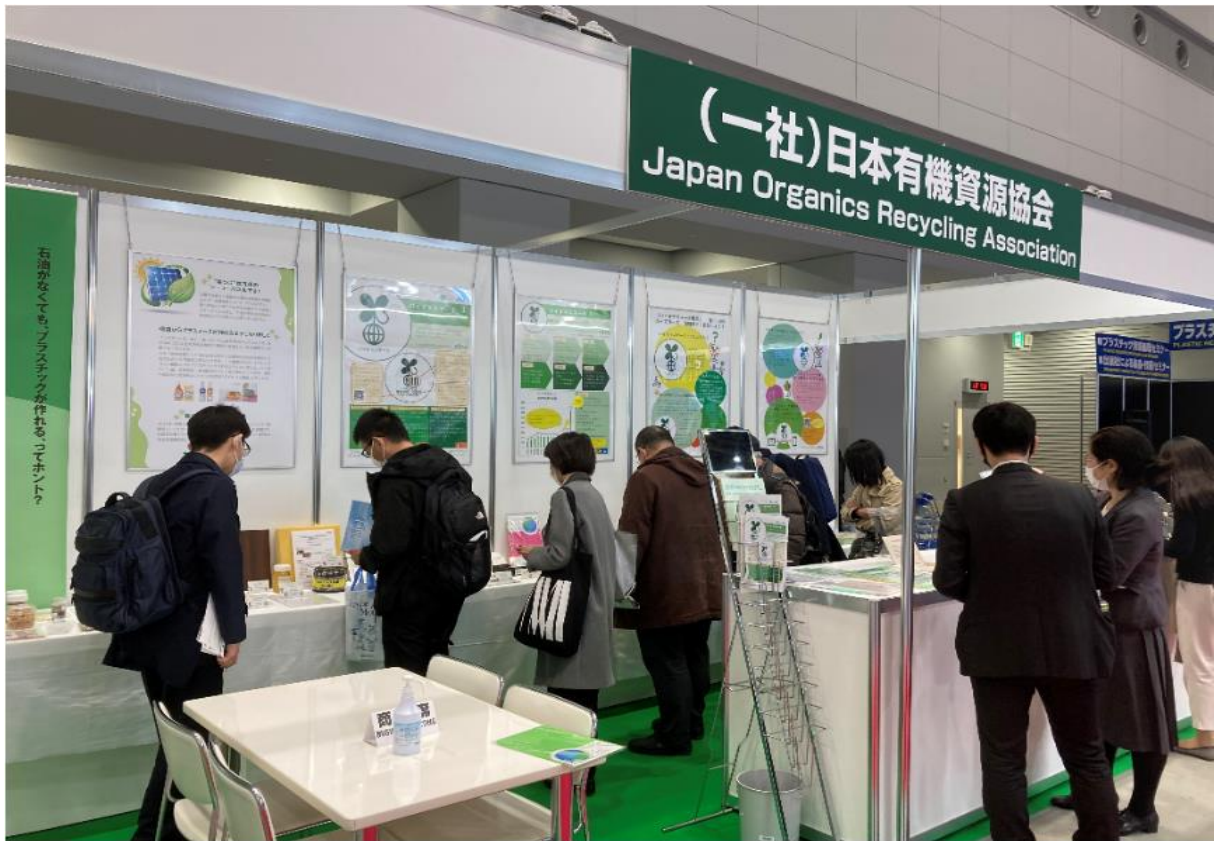



図 18 第 6 回国際バイオマス展（出展）（3 月 3 日～3 月 5 日）



サステナブルな

- 1, 「かなえたい未来」に共感し、以下の行動をします。
- 2, 私たちは、バイオマスの総合的な有効利用により、持続可能な循環型社会の構築と環境保全を目指します。

一般社団法人日本有機資源協会

連絡先：事務局 嶋本浩治
TEL：03-3297-5618 E-mail：hq@jora.jp




図19 「あふの環プロジェクト」への参画

あふの環 2030 プロジェクトに参画し、食と農林水産業に関わるサステナブルな取組動画を応募してレジェンド賞をいただきました。



伝えたい
あふの環
2030
日本の「サステナブル」

サステナアワード2020
伝えたい日本の「サステナブル」
サステナアワード レジェンド賞

バイオマスマーク応援団 殿

令和3年2月1日

あふの環2030プロジェクト
～食と農林水産業のサステナビリティを考える～
(農林水産省、消費者庁、環境省)

図20 「レジェンド賞」

③ 講演会への講師派遣等

9月2日～9月8日 東京農業大学 前期集中講義 環境科学講座担当

9月27日 民間団体 勝浦の循環型社会転換を考えるシンポジウム 講演

11月26日 茨城県 いばらき農業アカデミー 講演

12月2日 日本建築学会 地球環境委員会 小委員会 講演

1月18日 関東経済産業局 資源エネルギー環境部勉強会 講演

2月1日 日本環境衛生センター「ごみと脱炭素社会を考える全国ネットワーク」研究会 講演

2月8日 大日本印刷(株) 東京パックオンラインセミナー対談 対応

3月31日発行 「再生と利用」巻頭言「地域バイオマス資源のフル活用」 執筆

④ メールニュースの配信

メールニュースは、2020年4月～2021年3月の12か月間に51回配信しました。

2. 次年度の環境経営目標及び環境経営計画

中期計画の2年目となる次年度（2021年度）の環境経営目標及び環境経営計画は、「Ⅲ 全体の評価と見直し」を踏まえ、次のように作成しました。

2021年度

（1）事務局内での業務

ア）環境経営目標

- ① 業務の効率化により、年間電力使用量(kWh)を、2019年度を基準年度として2%削減します。ただし、コロナ対策を優先します。
- ② コピー用紙の購入量を、2019年度を基準年度として5%削減します。
- ③ 機密情報の漏洩防止のための紙の溶融処分量（箱数でカウント）を、2019年度を基準年度として16%削減します。

イ）環境経営計画

手段：

快適な職場就業環境の整備、健康管理を前提として環境保全の取組を推進します。

① 節電行動

- ・不在場所の消灯をします。
- ・退勤時にPCの電源を抜きます。
- ・1つの複合機の電源を切る状態を標準とします。
- ・シュレッダーの電源を切る状態を標準とします。
- ・エアコンの適切な温度設定をします。
- ・就業時間の削減（働き方改革との連動）に努めます。
- ・作業効率を上げて作業時間を短縮するために、高性能パソコンに随時切り替えます。

② 節電のための投資行動

- ・省力型冷蔵庫への買い替え（効果を見極め後）を検討します。
- ・エアコンの効果を上げるための温度計と、サーキュレーターを導入（効果を見極め後）を検討します。
- ・節電型のエアコンの切り替えをビル管理会社へ要望します。

③ ペーパーレス化の推進

- ・各種業務の電子化を促進します。
- ・上記を含め、機密情報の漏洩防止の観点から業者に委託し溶融処理している紙の量を減らします。

④ 意識啓発

- ・環境保全をミッションの1つとしているJORAビジョンを事務局員が交代で宣言（朗読）します。
- ・環境負荷削減についてのワークショップや講座を開催します。
- ・節電を呼びかける掲示をします。

- ・上水使用量削減のため、流しでの食器洗いやトイレでの手洗い時に節水を心掛けま
- す。
- ・事務局からのごみ削減のため、紙類はリサイクルを徹底し、コピー用紙は裏紙を利用
- します。物流梱包資材からの廃棄物削減のため、梱包資材の再利用を心掛け、個人発生
- ごみは持ち帰ることによりごみの発生量を減らします。
- ・事務局員全員で日常的な整理整頓及び清掃を実施します。

- ⑤ 数年間の取組の成果を基に JORA が入居している馬事畜産会館を管理している一般財
- 団法人馬事畜産会館に環境保全のために提案を行います。2021 年度は、一般財団法人馬
- 事畜産会館へ、2020 年度の環境経営レポートの共有を行います。

日程：データは月ごとに取得します。毎月開催する事務局運営会議のうち、四半期に 1 回、実績

を共有することにより、節電意識、ペーパーレス化の意識を高めます。

責任者：総務担当の新保美香を責任者とします。但し、上記⑤の責任者は専務理事の柚山義人と

します。

(2) バイオマス活用推進に関わる活動

ア) 環境経営目標－1 (JORA による各種支援に関して)

バイオマス産業都市構想等の策定を支援します。

イ) 環境経営計画－1

手段：

- 1) バイオマス産業都市構想、都道府県・市町村のバイオマス活用推進計画、バイオマス活
- 用事業化計画等の策定をバイオマス活用アドバイザー等と連携して支援します。
- 2) バイオマス発電をはじめとするバイオマスエネルギー関係の事業化のための計画策定を
- 支援します。
- 3) バイオマス活用相談室の運営により、資料提供、面談指導、実地指導、講演、委員の派遣
- をします。

日程：年間を通して推進します。事務局員・業務調整連絡会及び事務局運営会議において活動状

況を共有します。また、事務局運営会議において四半期に 1 回、EA21 の活動内容を事務局員

内で共有します。

責任者：次長の菅原良を責任者とします。

ア) 環境経営目標－2 (人材育成、普及啓発の活動に関して)

- ① 人材育成事業等で 20 名の人材を養成します (フォローアップ者を含みます)。なお、手段
- 1) ～5) で評価します。手段 6) を参考記録とします。
- ② 普及啓発事業等で 6 回のシンポジウム等の開催、出展等を行います。なお、手段 7)、8)
- で評価します。手段 9) のうち、メールニュースの配信数を参考記録とします。

イ) 環境経営計画－2

手段：

- 1) バイオマス活用総合講座

バイオマス活用に関する政策、法令、技術、事業運営等全般にわたる知識を修得し、地域におけるバイオマスの活用を推進する担い手を養成します。

2) バイオマス活用アドバイザー養成研修

バイオマスの賦存量及び活用量の把握手法、製品やエネルギー等多様な変換・利用方法、農林水産業をはじめとする地域の様々な産業や自治体関係者等との連携等、多方面にわたる豊富な知見を有し、地域の実状を踏まえて関係者間の調整や事業化に向けた支援等により「現場を動かしていく」人材である「バイオマス活用アドバイザー」を養成します。

3) メタン発酵技術アドバイザー養成研修

バイオガス化・液肥製造事業における技術管理やメタン発酵施設の総括管理業務担当者に必要な知識・技術の習得を行い、事業化に貢献できるメタン発酵技術アドバイザーを養成します。

4) コンポスト生産管理者及びメタン発酵技術アドバイザーのフォローアップ研修

コンポスト生産管理者及びメタン発酵技術アドバイザーをフォローアップするため、養成研修修了後3年毎に同修了者として必要な最新の政策、法令、技術、事業運営等に関する研修を実施します。

5) 講演会等への講師派遣等

6) シンポジウム、フォーラム、セミナー、サロン等の開催

7) 国内・国際展示会、地域イベント等への出展

8) ホームページ、メールニュースによる情報配信

日程：年間を通して推進します。月に1回、事務局運営会議において活動内容を事務局員内で共有します。

責任者：主幹の土肥哲哉を責任者とします。

3. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

事務局内の業務において、法的義務を受ける主な環境関連法規は次のとおりです。

No	法規制の名称	当協会の対応	遵守状況
1	廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃棄物処理法）	ビル管理会社が対応	○
2	消防法	防火管理者の任命、消火設備、避難路の確保	○
3	中央区廃棄物の処理及び再利用に関する条例	ビル管理会社が対応	○
4	特定家庭用機器再商品化法（家電リサイクル法）	リサイクル券により適正にリサイクル	○
5	資源の有効な利用の促進に関する法律（資源有効利用促進法）	各製品のリサイクルの仕組みにより適正処理	○

6	小型家電リサイクル法	各製品のリサイクルの仕組みにより適正処理	○
---	------------	----------------------	---

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規等は遵守されていました。また、環境関連法規等に関する違反、訴訟等もありませんでした。外部からの苦情等の受付もありませんでした。

Ⅲ 全体の評価と見直し・指示

1. EA21 代表者による全体評価

EA21 の試行は、Eco-CRIP での指導を受ける期間と同時期に行いました。このため、受けた指導をすぐさま活動に展開することができて効果的でした。

JORA の EA21 の取組は、(1) 事務局内での業務、(2) バイオマス活用推進に関わる活動に分け、各々、環境経営目標と環境経営計画(取組)を設定しました。取組内容については、事務局員全員が参加するワークショップや事務局運営会議等の場で練り上げ、情報共有と進捗管理を行いました。2021年1月14日には、試行期間内の取組を総括しました。

(1) については、目標設定においてコロナ対策を優先したため、節電目標は達成できませんでした。しかし、2020年12月の電灯電力使用量及び11月と12月の1人当たりの電灯電力使用量の指標で見ると、試行期間の後半には取組による改善効果が発揮できたと評価します。節電以外の目標は達成できました。(2) については全て目標を達成できました。

JORA では、試行期間(2020年10月～12月)の結果をもとに、環境経営レポート(試行期間2020年10月～12月)を作成し、EA21の登録申請を申し込み、その中で指導を頂きました。その結果、2021年3月25日に、エコアクション21の認証(認証登録番号 0013260)を得ました。今後とも環境経営方針に基づき、PDCAサイクルにより取組の改善を図ります。

全体としては、エコアクションの取組を開始し、その考え方と手順を理解できたことで、2020年度の取組は順調だったと判断します。

意気込みを示す標語を作成しましたので、この場で紹介します。

「JORA だもの、当然やりますエコアクション」

「われら JORA、エコアクションで進化する」

「エコアクション、学んで実践、環を広げ」

2. EA21 代表者による見直し・指示

中期計画で掲げた環境経営目標、環境経営計画は、点検の結果、修正は行わないことにします。コロナ対策のため、仮に2021年度も節電目標が達成できなかったとしても、コロナ対策後には必

ず効果があがることを期待します。意欲的で継続的な取組が重要なので、事務局運営会議において四半期に1回、着実に情報共有を行い、PDCA サイクルを回していくことを指示します。また、環境経営方針として、SDGs への貢献を取り上げていることから、2021 年度の環境経営レポート（2022 年 5 月中・下旬公表予定）においては、活動と SDGs の各目標との紐付けを示すことを指示します。

参考 「エコアクション 21」 認証・登録証



The image shows a certification and registration certificate for EcoAction 21. At the top left is the 'ea' logo with '環境省' (Ministry of Environment) and 'エコアクション21' (EcoAction 21) below it. To the right is the 'IPSuS' logo. Below the logos is a circular graphic with colored segments. The main text area contains the following information:

認証・登録番号	0013260
認証・登録事業者	一般社団法人日本有機資源協会 東京都中央区新川 2-6-16 馬事畜産会館 401
事業活動	有機資源の利用に関する調査研究、研修会の開催、普及啓発の実施
対象事業所	協会事務所
認証・登録日	2021 年 3 月 25 日
有効期限	2023 年 3 月 24 日

上記事業者は「エコアクション21ガイドライン2017年版」(環境省)の
要求事項に適合していることを証します。

一般財団法人 持続性推進機構
理事長 森本英香